

# 18年度の決算



役場のコピー機に張ってある料金表示。今、1円も無駄にしていけないという意識改革が求められています

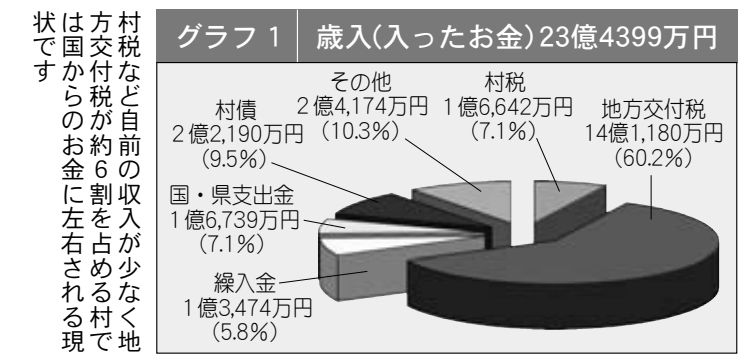
9月19日から21日まで開かれた村議会定例会で、平成18年度の決算が認定されました。決算額は22億9564万円。前年度に比べ7453万円の減となりました。村の収入は皆さんの納めた税金や国、県からの補助金などで賄われています。希望の地球村づくりに使われた大切な村のお金。そのあらましをお知らせします。

## 地方交付税が収入の6割

決算は、1年間にどれだけのお金が村に入り、どのようなことに、どれだけ使われたかを集計し、まとめられたものです。村の会計には一般会計と特別会計があって、それぞれ決算しています。

一般会計は村の基本的な仕事のためのものです。18年度の歳入(収入)は23億4399万円、歳出(支出)が22億9564万円と、4835万円の黒字になっています。

まず、歳入(グラフ1)を見てみます。1番多かったのは地方交付税の14億1180万円(60.2%)。この交付税は地方自治体間の財政力の格差を解消し、過不足を調整するために国から交付されるお金です。使い道は特定されず市町



## 新たな財源の確保が課題

2番目に多いのが村債で2億2190万円(9.5%)。これは太田名部漁港や白井漁港の整備、村道堀内机線などの整備のために村が国などから借り入れたお金です。

3番目は国・県支出金の1億6739万円(7.1%)です。これは事業を行うため、国や県からもらってお金で、使い道が決まっている財源です。

18年度の収入は前年度比2618万円の減にとどまっています。10年前と比べると地方交付税は約3億円、国・県支出金が6億円、合わせて9億円も減っています。今後、借金834兆円を抱える国から地方交付税や国庫補助金などの増額は望めないことから、村は新たな財源の確保が課題になってきます。

ました。18年度の決算と比較してみると、普通建設事業費は10年前より約10億円も減り、18%にも及びません。10年前は国の施策としてこ

## 行財政改革進め村づくり

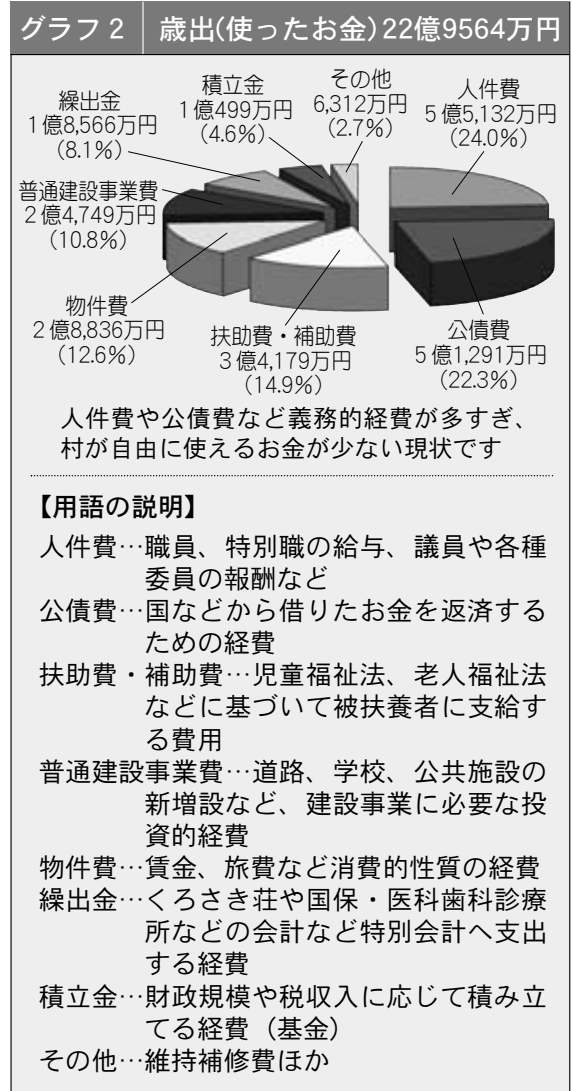
特別会計は一般会計と区別して経理したほうが分かりやすいものを特別会計としています。全部に共通するのが料金収入があるということ。村にはくろさき荘や医科・歯科診療所、水道など6つの特別会計(下表参照)があり、その会計ごとの収入で支出を賄つ

これらの事業に投資する交付税や補助金がありました。現在は、国も膨大な借金があることからこれ以上は望めないのが現実的です。

これを基本にしています。しかし、実際にはそれぞれの特別会計に施設などを建設、改修したときの借金があり、その返済などを一般会計から補充しています。歳出の項目でいえば繰入金がそれに当たります。中でも休養施設事業会計のくろさき荘会計

### ■特別会計

会計	歳入	歳出	差引額
1 国民健康保険	5億2,172万円	4億6,099万円	6,073万円
2 国民健康保険診療施設	2億2,023万円	2億52万円	1,971万円
3 簡易水道	7,169万円	6,900万円	269万円
4 休養施設事業	1億3,371万円	3億571万円	△1億7,199万円
5 老人保健事業	2億4,986万円	2億4,246万円	740万円
6 漁業集落排水事業	2,628万円	2,555万円	72万円



## 人件費と公債費で約5割

次に歳出使ったお金を見てください。左のグラフ2をご覧ください。

1位は人件費で5億5132万円(24%)です。これは職員や特別職の給与、議員の報酬などに使われたお金です。続いて2位は公債費の5億1291万円(22.3%)です。これは村が借りたお金を返すための経費です。この2つで支出の5割近くを占めます。

3位は児童福祉法や老人福祉法などに基づいて被扶養者

### ■18年度の主な支出ベスト5

順位	事業名	決算額	財源
1	県営普代地区農地開発事業債務負担金	6,353万円	村 100%
2	広域漁港整備事業地元負担金(太田名部漁港)	4,000万円	村 100%
3	地域水産物供給基盤整備事業(白井漁港)	3,400万円	国 50% 村 50%
4	電子情報化推進事業	1,898万円	県 50% 村 50%
5	村道堀内机線道路改良工事	1,697万円	村 50%

は累積赤字が1億7199万円となっていて、今後の課題の一つとなっています。

以上、簡単に18年度の決算を説明しましたが、減り続ける地方交付税や国・県からの補助金、借金の返済など村の財政は年々厳し状況です。

皆さんの納めた税金や国・県などの補助金などで賄われている村の財政。意識改革を図り、さらに行財政改革を進めなければなりません。そのためには村民の皆さんの協力が不可欠です。